

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	札幌市立信濃小学校 第3学年 93名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（社会） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	札幌市の公共施設の一つである「札幌オリンピックミュージアム」を見学し、その働きについて理解するとともに、冬のスポーツについて興味・関心を高める。
5 取組内容	○指導計画【4時間扱い】 社会 4時間 「市の様子」の公共施設の働きについて学ぶために、札幌オリンピックミュージアムに行き、オリンピックのすごさや冬のスポーツの楽しさを伝える施設だということを理解する。 ○取組の様子 社会科の「市の様子」の単元の公共施設の働きと関連付け、「札幌オリンピックミュージアムはどのような施設なのかな」という課題をもち、見学に行った。札幌オリンピックミュージアムでは、オリンピックの話の聞いたり、施設の解説を聞いたりした。その後、「総合的な学習の時間」と関連させ、調べたこと、感じたことをまとめた。 展望台から見える札幌市の様子やジャンプ台の様子を見学することで、札幌市とジャンプ競技への関心を深めた。



	   小さな小さなチャン スをつかむには、何 事も全力でがんばる ことが大事。 アルペンスキー選手 湯浅 直樹さんの言葉 より
6 主な成果	・札幌オリンピックミュージアムに見学に行くことで、どのような施設なのかを具体的に理解することができた。 ・オリンピックに出場した人による努力の大切さや諦めない心などの道徳的な話は、実感が伴っており、子どもも真剣に話を聞いた。 ・冬のスポーツについてもルールが書いてあったり道具が置いてあったりして、調べやすかった。
7 実践において工夫した点	見学が、「総合的な学習の時間」でも活用できるような単元を構成した。
8 主な課題等	・体験コーナーに取り組む時間が多く確保できるとよかった。 ・解説などは、文章表記や漢字などが3年生には少し難しかった。
9 今後の取組について	雪とのくらしを学ぶ単元でも、今回の見学を生かしていく。